

【学習方針】																		
題 材 名	賢い消費者になろう																	
内容・項目	D－（１）アイ （関連 A－（１）ア（２）アイ）																	
指導時間	5 時間																	
題材のねらい （題材の特徴）	<p>消費活動は身近であり，生徒も日常的に行っているが，持続可能な社会を維持するために消費者としての自覚を高め，主体的な取り組みができるようにさせたい。生徒が関わりそうな事例やゲストティーチャーの利用で，消費者としての意識を高められるよう学ぶ意欲や人とのかかわる力をつけさせたいと考えた。</p> <p>ゲストティーチャーは，茨城県消費生活センターの「大好きいばらき 安全・安心・くらしのセミナー」という事業で講師を派遣していただいた。セミナーのテーマについては様々なものがあり，打ち合わせをしながら臨機応変に対応してもらえる。</p>																	
学習の流れ （展開の工夫）	<table><tr><th>時 間</th><th>指導項目</th><th>主な指導内容</th></tr><tr><td>1 時間</td><td>・自分の生活をふり 返り，消費者 としての意識を もたせる</td><td>・教師や生徒たちの一日の生活の様子を写真で見 ながら，生活の中で行われる消費活動に気づか せる。また，家族の生活や自分の成長してきた 過程でも多くの消費活動が行われてきたこと にも触れ，持続可能な社会と消費生活との関連 についても理解させる。 ・消費活動について学ぶ必要性について理解させ る。【学ぶエネルギー】</td></tr><tr><td>1 時間</td><td>・販売方法や支払 い方法，生活に 必要な物資及び サービスの種類 を知り，選択， 活用できるよう にする</td><td>・販売方法や支払い方法の特徴を知り，生活に必 要な物資及びサービスを適切に選択，購入及び 活用ができるようにする。 ・多くの情報の中から適切な情報を収集・整理し 適切な選択ができるようにする。 【意思決定能力】</td></tr><tr><td>2 時間</td><td>・トラブル事例 や消費者の権 利と責任につ いて理解し， 消費者として の意識を高め る</td><td>・ロールプレイングを通して消費トラブルの事例 を知ったり，消費生活にかかわる制度や法律に ついて学習したりすることで，消費者としての 権利を行使し，責任を負うことができるように する。 ・中学生の消費行動にかかわる問題について知る ことで，消費者としての意識を高める。 【学ぶエネルギー】</td></tr><tr><td>1 時間</td><td>・大好きいばら き 安全・安 心・くらしの セミナー</td><td>・消費生活センターから講師を招き，契約の基 礎知識や中学生に多いトラブル，相談事例な どについて理解する。 ・実際に相談員として仕事をしている方の話を 聞いたり質問をしたりすることで，消費者と しての自覚を高める。【かかわり】</td></tr></table>			時 間	指導項目	主な指導内容	1 時間	・自分の生活をふり 返り，消費者 としての意識を もたせる	・教師や生徒たちの一日の生活の様子を写真で見 ながら，生活の中で行われる消費活動に気づか せる。また，家族の生活や自分の成長してきた 過程でも多くの消費活動が行われてきたこと にも触れ，持続可能な社会と消費生活との関連 についても理解させる。 ・消費活動について学ぶ必要性について理解させ る。【学ぶエネルギー】	1 時間	・販売方法や支払 い方法，生活に 必要な物資及び サービスの種類 を知り，選択， 活用できるよう にする	・販売方法や支払い方法の特徴を知り，生活に必 要な物資及びサービスを適切に選択，購入及び 活用ができるようにする。 ・多くの情報の中から適切な情報を収集・整理し 適切な選択ができるようにする。 【意思決定能力】	2 時間	・トラブル事例 や消費者の権 利と責任につ いて理解し， 消費者として の意識を高め る	・ロールプレイングを通して消費トラブルの事例 を知ったり，消費生活にかかわる制度や法律に ついて学習したりすることで，消費者としての 権利を行使し，責任を負うことができるように する。 ・中学生の消費行動にかかわる問題について知る ことで，消費者としての意識を高める。 【学ぶエネルギー】	1 時間	・大好きいばら き 安全・安 心・くらしの セミナー	・消費生活センターから講師を招き，契約の基 礎知識や中学生に多いトラブル，相談事例な どについて理解する。 ・実際に相談員として仕事をしている方の話を 聞いたり質問をしたりすることで，消費者と しての自覚を高める。【かかわり】
時 間	指導項目	主な指導内容																
1 時間	・自分の生活をふり 返り，消費者 としての意識を もたせる	・教師や生徒たちの一日の生活の様子を写真で見 ながら，生活の中で行われる消費活動に気づか せる。また，家族の生活や自分の成長してきた 過程でも多くの消費活動が行われてきたこと にも触れ，持続可能な社会と消費生活との関連 についても理解させる。 ・消費活動について学ぶ必要性について理解させ る。【学ぶエネルギー】																
1 時間	・販売方法や支払 い方法，生活に 必要な物資及び サービスの種類 を知り，選択， 活用できるよう にする	・販売方法や支払い方法の特徴を知り，生活に必 要な物資及びサービスを適切に選択，購入及び 活用ができるようにする。 ・多くの情報の中から適切な情報を収集・整理し 適切な選択ができるようにする。 【意思決定能力】																
2 時間	・トラブル事例 や消費者の権 利と責任につ いて理解し， 消費者として の意識を高め る	・ロールプレイングを通して消費トラブルの事例 を知ったり，消費生活にかかわる制度や法律に ついて学習したりすることで，消費者としての 権利を行使し，責任を負うことができるように する。 ・中学生の消費行動にかかわる問題について知る ことで，消費者としての意識を高める。 【学ぶエネルギー】																
1 時間	・大好きいばら き 安全・安 心・くらしの セミナー	・消費生活センターから講師を招き，契約の基 礎知識や中学生に多いトラブル，相談事例な どについて理解する。 ・実際に相談員として仕事をしている方の話を 聞いたり質問をしたりすることで，消費者と しての自覚を高める。【かかわり】																

題材の紹介  
と作品例



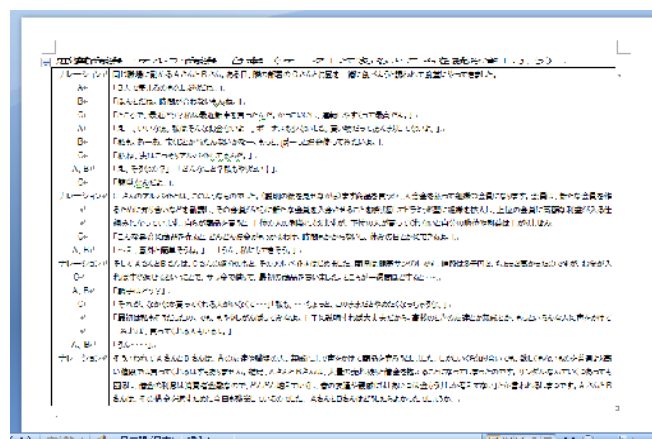
生活をふり返る場面で使用する写真は、身近な人や生徒が興味をもちそうな人を扱うことで学ぶ意欲につながると考えられる。今回は教師の家族の写真を利用した。



茨城県消費生活センターでは、「大好きいばらき安全・安心くらしのセミナー」として講師を無料で派遣してくれる。セミナーのテーマについては生徒の実態などを踏まえて臨機応変に対応してくれる。



消費者トラブルについての台本は、事例を参考に自作した。授業を行う学級の班編成などによって対応できるよう数種類用意してある。ラミネート、首からかけられるようひもをつけておいて、練習に時間をかけなくてもできるようにしておく。



準備・材料等

- ・教師や家族、生徒など身近な人の生活行動の写真
- ・ロールプレイングの台本
- ・消費生活センターへの講師依頼、事前打ち合わせなど

〔本題材を考案するに当たって参考にしたもの〕

- ・中学校学習指導要領解説 技術・家庭編
- ・茨城県消費生活センター <http://www.pref.ibaraki.jp/bukyoku/seikan/syose/>
- ・国民生活センター <http://www.kokusen.go.jp/>